

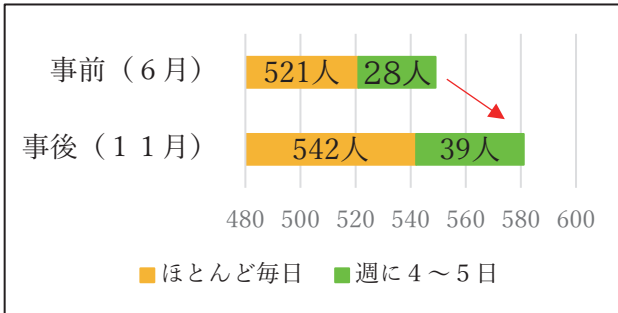
成果と課題

各実践校で実施した、児童生徒及び保護者、教職員に対する共通アンケートの結果から明らかになった成果と課題について。

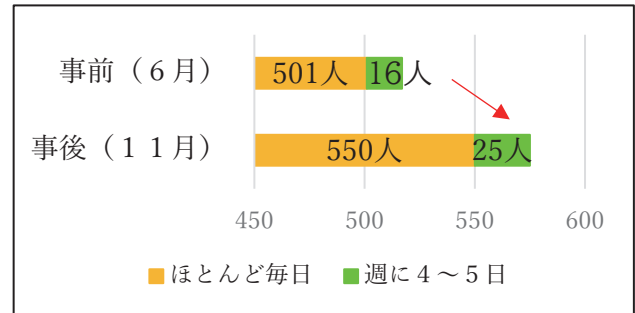
【檀原市立畝傍東小学校】

*朝食を毎日食べますか。

【児童】



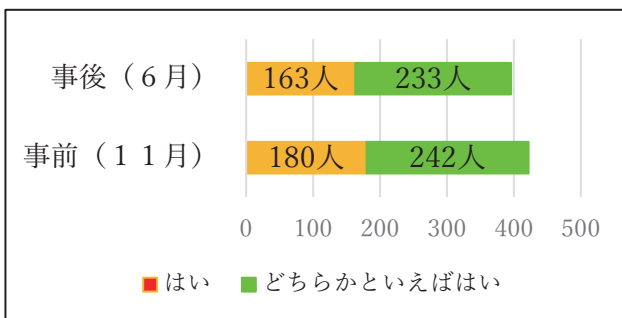
【保護者】



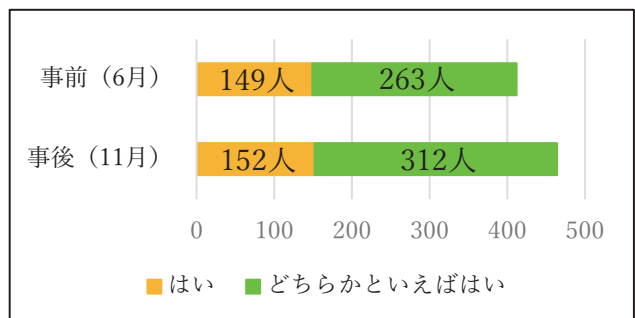
朝ごはんを「毎日食べる」「週に4～5日食べる」と回答した児童が増えた。朝ごはん指導計画に基づく指導の効果と考える。また、保護者の回答も同様に増えていることから、朝ごはんをテーマにした、教育講演会や親子料理教室の開催により、家庭へも啓発できたといえる。引き続きこれらの取組を継続するとともに、**今後は、「週に1日程度」「ほとんどない」と回答している児童や保護者に対するアプローチを検討する必要がある。**

*一日や一週間の栄養バランスを考えて食事やおやつをとりますか。

【児童】



【保護者】

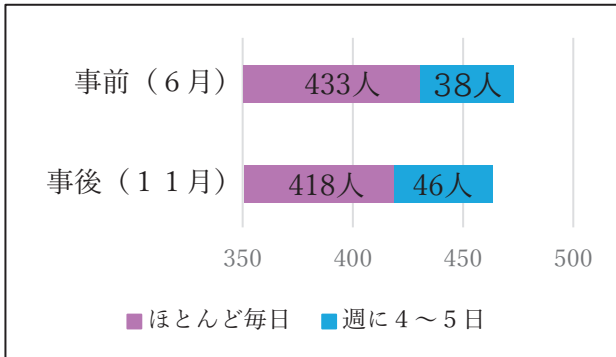


栄養バランスを考えて食事やおやつをとる児童と保護者が増えた。その他にも、主食、主菜、副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上ある児童や保護者もふえている。食育プログラムに基づき、計画的かつ系統的に食事の重要性について学ばせ、学んだ知識を実生活で生かす実践力につながったと考えられる。**今後も実態に応じてプログラムを見直しながら、家庭を巻き込んだ、計画的で効果的な指導を続ける必要がある。**

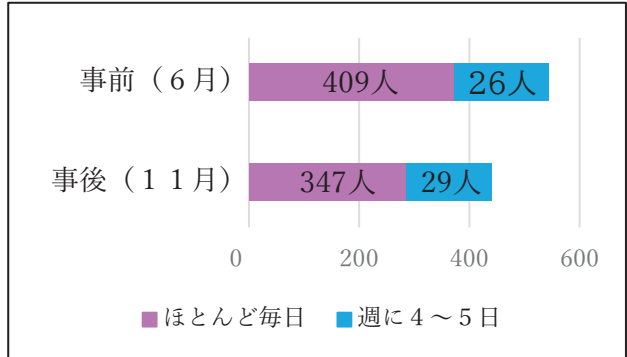
【橿原市立橿原中学校】

*朝食を毎日食べますか。

【生徒】



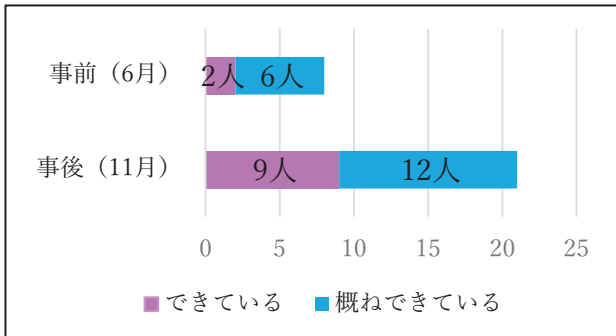
【保護者】



市で策定した「朝ごはん指導計画」に基づいた指導は、事業取組期間内には中学1年生にしか実施できなかった。**中学生における朝食摂取に関する指導の難しさが明らかになった。**

*栄養教諭と学級担任が連携した指導を計画的に実施できているか。

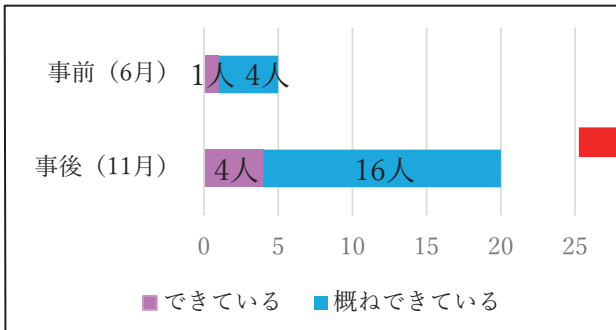
【教職員】



事業を活用し、実践校の栄養教諭と市内の栄養教諭等が協力しながらプログラムを作成し、実践につなげたことにより、学校全体で食育の推進に取り組んでいこうという体制が築かれたといえる。**今後も全体計画の見直しを行いよりよい実践につながるよう組織として取り組んでいきたい。**

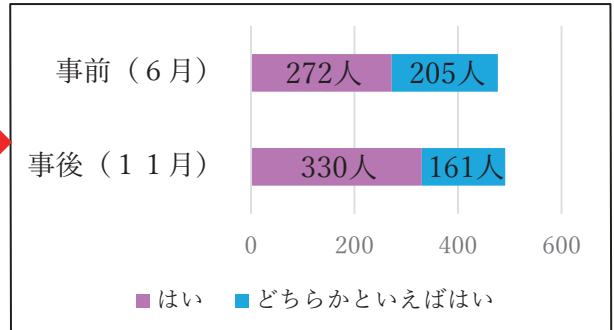
*教科等で取り上げられて食品や学習したことを学校給食を通して確認できているか。

【教職員】



*食事の際に衛生的な行動をとりますか。

【生徒】



栄養教諭が家庭科の授業を行い、生徒の意識が高まったことに加え、学級担任が給食指導の中で日常的な指導を実施することで、生徒の行動変容につながったと考えられる。実践したことは確実に成果となって現れていることから、長期的な視野に立ち、学校全体で取り組む食育の重要性が明らかになった。**今後は朝ごはん指導等においても、計画的、継続的に家庭を巻き込んだ取組をしていきたい。**